

2013 年度（平成 25 年度）

小諸市の温室効果ガス排出量について

小諸市における 2013 年度の温室効果ガス排出量を推計しました。

（単位：千 t）

			1990 年度	2013 年度	90 年度比	
二酸化炭素	産業部門	製造業	70.4	71.7	101.8 %	
		建設・鉱業	10.7	4.1	38.3 %	
		農林水産業	1.6	0.9	56.3 %	
		小計	82.7	76.7	92.7 %	
	家庭部門		50.6	88.9	175.7 %	
	業務部門		45.8	74.7	163.1 %	
	運輸部門	自動車	（旅客）	42.2	54.5	129.1 %
			（貨物）	59.5	53.5	89.9 %
		鉄道		2.6	3.3	126.9 %
		小計		104.3	111.3	106.7 %
	廃棄物部門		2.3	2.5	108.7 %	
	小計		285.7	354.1	123.9 %	
	その他の温室効果ガス			47.7	24.7	51.8 %
温室効果ガス総排出量			333.5	378.8	113.6 %	

温室効果ガス排出量は環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画策定・実施マニュアル策定手法編（平成 29 年 3 月）」に基づいた方法で、市内の製造業、建設・鉱業、農林水産業、家庭、業務、運輸及び廃棄物の 7 部門について排出される二酸化炭素量を推計し、その他の温室効果ガス（メタン・一酸化二窒素・ハイドロフルオロカーボン類・パーフルオロカーボン類・六フッ化硫黄）は、「長野県地球温暖化防止県民計画改訂版」における二酸化炭素と温室効果ガスの比率をもとに按分して求めることとしました。なお、温室効果ガス排出量は「t-CO<sub>2</sub>」など、二酸化炭素に換算して表記しています。

小諸市の 2013 年度における市内の二酸化炭素の総排出量は、354.1 千 t-CO<sub>2</sub>と算出されました。1990 年度における二酸化炭素の総排出量 285.7 千 t-CO<sub>2</sub>と比較して 23.9%の増加となりました。